

# 災害科学に関する最新研究成果の情報交換会

名城大学自然災害リスク軽減研究センター  
東北大学災害科学国際研究所

日時： 2020年7月10日（金） 午前9時20分～午後11時00分

会場： オンライン会議（Zoom）

発表形態： 各発表者10分+5分質疑応答

司会： 寺田賢二郎（東北大災害研／地域・都市再生研究部門／計算安全工学研究分野）

9:20-9:25 開会挨拶 小高猛司（名城大自然災害リスク軽減研究センター長）

9:25-9:40 令和元年台風19号の丸森町の被害と復旧  
柴山 明寛（東北大災害研／情報管理・社会連携部門／震災アーカイブ研究分野）

9:40-9:55 主としてシェル・空間構造や室内挙動の観点からの取り組み  
武藤 厚（名城大自然災害リスク軽減研究センター・理工学部建築学科）

9:55-10:10 強震観測に基づく地盤震動評価と建物構造モニタリング  
大野 晋（東北大災害研／災害リスク研究部門／地域地震災害研究分野）

（休憩5分）

10:15-10:30 世帯の居住地選択と居住継続に関する研究  
—これまでの研究成果と防災分野への応用可能性—  
鈴木 温（名城大自然災害リスク軽減研究センター・理工学部社会基盤デザイン工学科）

10:30-10:45 津波遡上シミュレーションとその代理モデル  
森口周二（東北大災害研／地域・都市再生研究部門／計算安全工学研究分野）

10:45-11:00 地形条件と水災害の特徴—水と土砂の流れの観点から—  
溝口 敦子（名城大自然災害リスク軽減研究センター・理工学部社会基盤デザイン工学科）